

アシストソリューション研究会 2010年度分科会活動の評価基準について

ソリューション研究会では、2010年度は、以下の観点から、分科会活動を評価させていただきました。

1. 「分科会発表会」プレゼン賞
2. 「活動報告書」優秀賞
3. 活発な分科会賞

それぞれの評価基準は、以下の通りです。

1. 「分科会発表会」プレゼン賞

ソリューション研究会「分科会発表会」での発表について、来場者が回答するアンケート結果（「発表内容、プレゼンテーション、発表資料」の3点から評価）に基づき、各地区1つの分科会に対して、プレゼン賞を選定しました。

2. 「活動報告書」優秀賞

下記の観点から「活動報告書」としての完成度を審査し、各地区から1つ、優秀賞を選定しました。

① 研究活動の反映

分科会の研究プロセスが反映された内容であること。

→分科会活動の苦勞がにじみ出ているか、みんなで書いているか、分量がそれなりにあるか、など。

② 研究内容の深堀り度

様々な観点からアプローチされているとともに、研究内容がきちんと深堀りされている。

→課題について、表面的にではなく、掘り下げて研究されているか。

③ 合理性、説得力

分科会の主張や結論に裏付けがあり、その主張や結論に合理性や説得力があること。

→論理的か、また論理の展開に無理がないか。”

④ 独自性

主張する視点に独自性があり、考え方に参考となる部分が多い。

→創意工夫が認められるか。

⑤ 貢献度、有効性

成果物が、実務に役立つことから、会員企業に対する貢献度が高い。

→成果物に実用性が感じられるか。

⑥ 表現力

文章が読みやすく、まとまりがあり、論旨がはっきりしているとともに、図表の使い方や見た目の表現力に優れている

→読みやすいか。

3. 活発な分科会賞

一年間にわたって、参加メンバーが協力して、活発な活動を行った分科会には、各地区1つの分科会に対して「活発な分科会賞」を、参加メンバーの参加率、分科会開催頻度、等を参考に、選定しました。

<審査員>

ソリューション研究会役員が審査員となり、各賞を選定しました。